

監 督 会 議

令和6年4月27日（土）

1 競技について

- ① 組み合わせについては印刷通りとします。
（中総体個人戦のシード決めの参考にするため、シード順決定戦並びに5～8位決定戦を行います。）
- ② 時間が切迫していますので、移動を早めさせて下さい。
- ③ 試合順に関しては、タイムテーブルの順で行います。試合順を優先しますので、コートが変更になることがあります。
- ④ 連続試合になるときは、5分後にコールをし、試合を行います。

2 ルールについて

- ① **30点の1ゲームで行います。ベスト8決め【試合番号 男子：87番（BS-28）、女子：140番（GS-45）】より、21点の3ゲームで行います。**
- ③ **5～8位決定戦は準々決勝敗者による総当りで、21点1ゲームで行います。（21点打ち切り）**
勝ち数が並んだときには 1 得失点差 2 直接対決の勝者 で順位をつけます。
なお、中総体時に違うペア（種目の変更）で申し込んだ場合、シード権が消滅する場合があります。
- ④ **21点3ゲームの場合、20点オールになった場合は、その後最初に2点リードしたサイドが勝ちとなります。また、29点オールになった場合には30点目を得点したサイドが勝ちとなります。30点1ゲームの場合、30点目を先に得点したサイドの勝利。（30点打ち切り、デュースなし）**
- ⑤ プレーヤーはアドバイスを受けることを許されます。ただし、

- 1 ラリー中のアドバイスはしてはいけません。
- 2 プレーヤーは主審の許可なしにコートを離れることはできません。
- 3 監督・コーチはアドバイスのためにコートの中に入ることはいけません。
（監督・コーチはコートの隣に出向いて話す。）

4 監督・コーチはプレーを故意に遅らせることをしてはいけません。

※最近、1 プレー終わるごとにコーチ席から選手に対して、失敗を大声で責めるような指導（声掛け）を見かけます。プレーが切れ、次のプレー（サービス）に入るまでの短時間に、端的な助言（声掛け）等は認められています（競技規則第16条第5項1参照）が、選手が指導者の方を振り返ったり、指導に対して返事をしたりすると、遅延行為ととられる可能性があります。ご注意ください。

5 個人戦においては当該選手のみが審判への質問が認められます（抗議はできません）。

- ⑥ ラリー中の応援は一切しないこと。また、サイド・コーチは慎むこと。
（ラリー中に、自校の選手に「入ってる」「アウト」と声を出して指示をしている監督やコーチがいます。ルールを守るよう、お願いします。）
- ⑦ 汗ふき、水分補給につきましては、主審の許可を得て、試合の妨げにならないようにお願いします。
なお、**そのとき、タオル、水筒等を入れたバックやかご等を主審の所に置きます。**選手は必ずそこに置くようにして下さい。選手はベンチに取りに行かないこと。本部から荷物を入れるかごは用意しませんので、各校で準備して下さい。また、感染予防のため、選手の使用しているタオルやラケットが直接床に触れることがないようにして下さい。
- ⑧ 主審に関しては基本的には敗者審判となっています。
・初回戦の主審に関しては、**タイムテーブルに記載されている学校の選手**でお願いします。
・線審・得点係に関しては試合をする学校より2名出してください。**補助員が足りない場合は、対戦校と協議の上、得点係を1名で行ったり、線審と得点係を兼ねて行ったりするなど、ご協力をお願いします。**
- ⑧ 選手変更については、以下の順で認めたいと思います。

- 1 登録外選手との変更（通常通り）
- 2 ダブルス2組のいずれも1名ずつ出場できない場合、1つにまとめて出場することができる。その際、上番手の場所に入る。

【注意】種目を変更しての選手変更はできない。

例) ダブルス1名が出場できなくなり、シングルス1名を棄権にして、ダブルスの1名と組んでの選手変更はできない。

☆ 今回の試合は、市中総体のシードに直接関わる試合ですので、**オープンでの参加はできません。**

3 マナーについて

- ① ウエアー（シャツ）は、短パンやスコートの中に入れること。
- ② ダブルスのファーストサーバーは、赤のリボンをつけること。
シャトルが落ちたら、すみやかに取りに行くこと。ゲーム中の汗ふきは、主審の許可を得てから行うこと。
(頻繁に行わないように)

落ちたシャトルを拾う際に、ゆっくり遠回りして拾いに行ったり、ラケットでシャトルを拾うのを何度も失敗してすぐに拾わなかったりすると遅延行為を取られる可能性があります。ご注意ください。

- ③ 相手に対して、威嚇したり、不愉快になる言動を行ったりしないように注意させて下さい。再三、行うようであれば、フォルトを取ります。
- ④ **フロアーには、選手・監督・コーチ・役員のみとします。それ以外の人は、観覧席に上がっておくようにお願いします。**
- ⑤ 市民体育館は座席指定となっています。**保護者・関係者を含めて、各校指定された場所**から、試合を観戦してください。**観覧席の手すりからの応援については、必ず座って応援してください。**
- ⑥ **くるぶしソックスの使用は禁止します。**

4 シャトルについて

ヨネックス社製エアロセンサ700（2種検定合格品）（3番）を使用します。

※シャトルについては、すべて本部で用意します。各学校からの持ち寄りはありません。

5 会場使用について

- ① 長崎市民体育館のフロアー入口は、正面入口およびステージサイドの3カ所とします。**選手は、ステージサイドの奥で待機しないこと。**
- ② 長崎東公園コミュニティー体育館のフロアー入口は、給水機前の入口1カ所とします。（正面入口より出入りをしないこと。）
- ③ フロアー正面を出たところでの練習等は一切禁止です。
- ④ 長崎市民会館入口・周辺でのラケットやシャトルを使用しての練習は禁止です。
- ⑤ **長崎市民会館の周囲でのランニングは禁止です。**
- ⑥ 屋外は必ず下足シューズに履き替えること。
- ⑦ ゴミは必ず持ち帰ること。
- ⑧ フラッシュをたいての写真撮影は厳禁です。

6 アドバイスシートの利用について

- ① アドバイスシートには、**監督とコーチまたはマネージャー**が座ってもよい。
- ② アドバイスシートに着席する人は、プレーヤーへの助言を行う。
- ③ チェンジエングの時は**選手と一緒に移動し、着席をする。**
- ④ アドバイスシートは選手への「助言」を行うための席ですので、ラリー中の助言や、プレーを妨げる行為・過度な応援などはできません。

※ **選手応援席で選手と応援したい監督・コーチの気持ちはよくわかりますが、あくまでも監督・コーチの役割は「アドバイス」ですので、ご理解ください。**

7 ゲームとゲームの間のインターバルについて

① 30点1ゲームにおけるインターバルについて

・どちらかのサイドが先に15点に達したところで、チェンジエンズを行う。その際に、**60秒以内**でインターバルを取ることができる。

② 21点3ゲームにおけるインターバルについて

・すべてのゲーム中に一方のサイドが**11点になったとき、60秒**を超えない範囲でインターバルをとることができる（認める）。
 ・**第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒**を超えない範囲でインターバルを認める。

近年、インターバルの時間に長く指導され、時間内にゲームを再開できない場面をよく見かけます。

主審は必ずストップウォッチで計測し、20秒前になったら**「残り20秒です。」**と当該選手に伝えるようにしてください。

時間内にコートに入ることが出来なければ、「フォルト」となります。

8 その他（大会運営部からのお願い）

① 荷物（水筒やタオル、ラケット等）を入れるバック・かご等の準備

毎試合ごとに消毒を行うことは困難なため、タオルや水筒等が直接床にふれないようにするために、補助バックやかご等に入れて主審の両サイドに置くようにしてください。

② 事故等があった場合、当協会では責任を持ちませんので、各部で加入されているスポーツ保険等での対応をお願いします。

③ 選手待機場の案内掲示は、タイムテーブルに記載している試合番号で行っています。

最近、試合番号を把握していない選手が多数見られ、試合進行に支障が出ています。必ず、選手本人が**試合番号(通し番号)**を把握し、試合状況を確認して余裕を持って待機場に集まるよう、ご指導よろしく願います。

(例)

【タイムテーブル】

BS (男子シングルス) , BD (男子ダブルス)								
	第1コート	第2コート	第3コート	第4コート	第5コート	第6コート	第7コート	第8コート
11:00~	25	26	27	28	29	30	31	32
	8	BS-9	BS-10	BD-18	BD-19	BD-20	BD-21	BD-22

試合番号 25 番
 ※この番号(タイムテーブルの上の番号)を掲示します。

この番号は、試合運営上、分かりやすくするために記載している番号で、このBS-10やBD-20の番号は、体育館内には掲示されません。